

企画展

「日本デンマークと呼ばれた時代 —100年前の碧海地域と農業—」

会期：2025年4月19日(土)～6月29日(日) 観覧料：無料

大正から昭和初期の碧海郡一帯は農業の発展が著しく、複数のメディアから「日本デンマーク」と呼ばれていました。特に安城市域はこの時期に大きく変化し、先進的な事例として日本全国から視察者が押し寄せました。しかし、このような発展は行政だけの力ではなく、人々の行動によって支えられました。

「日本デンマーク」の形成には、明治後期までに整えられた農業生産基盤や、第一次世界大戦後の販路の拡大など、様々な要因が関係しています。

今回の展示では、当館収蔵品を中心に、碧海郡が「日本デンマーク」と呼ばれた時代の、農業や暮らしについて紹介します。



三河スイカラベル(本館蔵)

特別展

「空襲に備えよ —総力戦下の家庭防空—」

会期：2025年7月19日(土)～8月31日(日) 観覧料：一般500円／中学生以下無料

日本は昭和17年(1942)4月18日に初めて戦略的な本土空襲を受け、日本が降伏するまで空襲は断続的に続きました。市域は大規模な空襲を受けることはありませんでしたが、昭和20年7月20日の岡崎空襲の際に上条町や安城町、小川町には焼夷弾が投下され、明治航空基地(東端町他)の周囲ではたびたび空襲や機銃掃射を受けました。市域の人々も空襲警報が鳴ると防空壕に隠れ恐怖に震えていたという証言が伝わっています。日中戦争が始まった昭和12年に防空法が制定されると防空訓練は本格化し、一般市民も日常的に空襲へ備えるようになりました。本展覧会では、銃後の防空活動に焦点を当てて戦争が身近に迫る様子をご紹介します。



消火弾(本館蔵)

特別展 「日本妖怪展」

会期：2025年9月13日(土)～11月3日(月・祝) 観覧料：一般700円／中学生以下無料

妖怪は自然に対する畏敬や心の不安によって生み出されたといわれています。江戸期以降になると様々な種類の妖怪絵巻が描かれ、さらに木版印刷の発展によって妖怪文化は飛躍的に広がりました。時に恐ろしく、時に愛らしいキャラクターとして多くの人々を魅了した妖怪の世界を湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)の収蔵品を中心に紹介します。



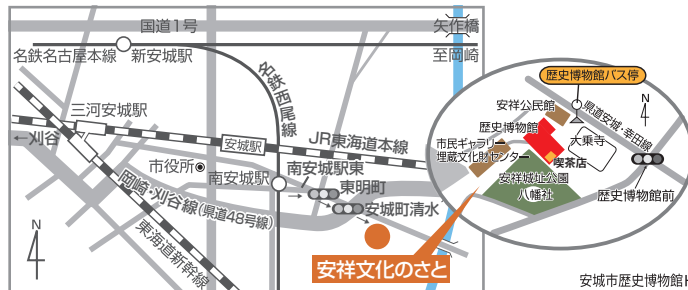
百鬼夜行絵巻(江戸時代) 湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)蔵

利用案内

- 〔常設展観覧料〕個人200円(中学生以下無料)・団体(20人以上)160円 障がい者手帳等お持ちの方及び同伴者1名様100円
- 〔開館時間〕9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 〔休館日〕毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12/28～1/4)

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩15分
- JR東海道本線安城駅より、あんくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
- JR東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分
- 無料駐車場(230台収容)あり



安城市歴史博物館HP

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30 番地
電話 / 0566-77-6655 FAX / 0566-77-6600
<https://ansyobunka.jp/> 安城市歴史博物館



安城市歴史博物館

催し物案内

2025.4-2025.9

ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY



先届	正味	品種	生産者	愛知縣安城園芸組合
様	貫	箱口	個入	

安城梨ラベル(本館蔵)